

題名 南風原アーチ橋耐震補強設計について

◎管理第二課 課長 山城 修
○管理第二課 修繕係長 城間 秀樹

1. 目的

国道506号那覇空港自動車道は沖縄自動車道と連動し、重要港湾等を結ぶ重要路線（1way道路）であることから優先的に耐震補強工事を鋭意進めてきている。今回、南風原アーチ橋の景観を考慮した耐震補強設計について発表するものである。

2. 内容

南風原アーチ橋は橋長：（上り）780mの20径間連続、（下り）828mの21径間連続のRCアーチ橋である。平成8年に完成し同年に土木学会田中賞を受賞しており、琉球アーチ構造（垂直の側壁を持ちアーチ形状は扁平）でスレンダーな橋梁である。アーチ橋の耐震補強設計における景観への配慮について検討をおこなった。

3. 結論

経済・施工・景観性を総合的に評価した結果、橋脚部はRCコンクリート巻き立て、アーチ部垂直材については、炭素繊維巻き立てにより現況とほとんど変わらない厚みとなり、結果、景観的にも配慮した形となった。

4. 今後の問題点

那覇空港自動車道の耐震補強工事はH27年度完了を目指に行ってきているが、南風原アーチ橋部については、工事量の多さおよび、進入路等の必要性から周辺の借地が必要であり、円滑な工事進捗のために適正な施工計画の作成を行うとともに、円滑な借地契約を進めることが重要である。